

製品安全データシート

【1 化学物質等及び会社情報】

社 名 社団法人日本セラミックス協会
住 所 東京都新宿区百人町 2-22-17
担 当 原料部会
T E L (03) 3362-5231
F A X (03) 3362-5714
作 成 平成 18 年 8 月 8 日

製品名 (社) 日本セラミックス協会標準物質 JCRM R003,004,005 窒化けい素

【2 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別	単一製品
化学名又は一般名	窒化ケイ素
C A S N o .	12033-89-5
成分	窒化ケイ素
化学式	Si_3N_4
官報公示整理番号 安衛法 化衛法	該当なし (1)-493

【3 危険有害性の分類】 物理的及び化学的危険性 有害性

不燃性であり火災・爆発の恐れはない
長期間、微粉末を吸入すると肺臓炎、珪肺症の原因になる。
水と接触すると加水分解によりアンモニアを生じアルカリ性を呈し目や皮膚に対し刺激性がある。長時間付着した状態では、皮膚に炎症を起こす可能性がある。加水分解は高温、アルカリ性下では促進される。また、空気中の水分により徐々に進行してアンモニアガスを発生する。
飲み込むと喉を刺激する。長期暴露されると、鼻の内部組織や目の角膜に炎症を引き起こす事がある。
不純物として含まれる酸化ケイ素は肺の中に入ると、リンパ組織、気管支、血管などに集まり、次第に肺胞まで入り込み、慢性の気管支炎、リウマチ性疾患、球菌肺炎などを引き起こす原因となる。
データなし

環境影響

【4 応急措置】	吸入した場合	： 直ちに空気の新鮮な場所へ移動させる。水で口の中を洗う。安静、保温に務める。必要に応じ医師の診断を受ける。
	皮膚に付着した場合	： 速やかに石鹸水または水で十分に洗い流す。水泡、痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
	目に入った場合	： 速やかに瞼を開き、隅々まで清浄な水で少なくとも15分間以上洗い流し、直ちに眼科医の診断を受ける。
	飲み込んだ場合	： 水で口の中をよく洗浄し、可能であれば飲み込んだものを吐き出させ、直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
【5 火災時の処置】	消火方法	本製品自体は不燃性である。 周辺火災の場合は、容器を安全な場所へ移動する。
	消化剤	汎用のもので構わない。付着した物が燃焼している場合は、燃焼に適した消火方法と消火剤を用いること。 高温で水と接触すると加水分解が生じてアンモニアガスを発生する可能性がある。高温で大量の製品に注水または散水する際には注意が必要である。
	消火を行う者の保護	必要に応じて呼吸保護具、保護眼鏡、保護手袋などを着用する。
【6 漏出時の処置】	作業者は適切な保護具を着用し、飛散した粉塵を掃き集め、或いは真空掃除機などを使用して取り除き、所定の容器に回収する。	
【7 取扱い及び保管上の注意】	取扱い	粉塵を吸入しないように、防塵マスクなど適切な保護具を着用する。
	保管	試薬棚に保管する。(水濡れ、破れに注意する) 高温多湿な場所での保管を避ける。
【8 暴露防止及び保護措置】	設備対策 管理濃度 許容濃度	屋内での取扱いの際は、局所排気装置を設置する。 なし 日本産業衛生学会(2004年版)第3種粉塵 2mg/m ³ (吸入性粉塵) (TWA) 8mg/m ³ (総粉塵) (TWA) ACGIH(2004年版)一般粉塵 3mg/m ³ (吸入性粉塵) (TWA) 10mg/m ³ (総粉塵) (TWA)
	保護具	呼吸用の保護具－防塵マスク 手の保護具－保護手袋 目の保護具－ゴーグル型眼鏡などの保護眼鏡 皮膚及び身体への保護具－保護服、保護長靴など

【9 物理的及び 化学的性】	外観及び色 臭い pH 密度 引火点 溶解度	粉末、白色または灰色 僅かにアンモニア臭がある。 約 8～10 約 3.2g/cm ³ データなし 水に不溶
【10 安定性及び 反応性】	安定性 反応性 危険有害な分解生成物	： 熱膨張率が小さく、化学的に安定である。熱に対しては、不活性雰囲気下で約 1900℃まで安定である。(ただし圧力、雰囲気の種類、不純物等の条件で変化する場合がある。)。 ： 酸化性、自己反応性はない。水または水蒸気を含む雰囲気で加熱すると加水分解してアンモニアガスを生ずる。フッ化水素酸と反応してフルオロケイ酸アンモニウムを生じ、硫酸中では徐々に硫酸アンモニウムを生ずる。 ： 加水分解してアンモニアガスを発生する可能性がある。
【11 有害性情報】	慢性毒性・長期毒性 その他	微粉末の長期間吸入により肺臓炎・珪肺症の可能性がある。 水との混合において僅かにアンモニアが生ずる場合がある。アンモニアガスは刺激臭があり、皮膚・粘膜に対する刺激及び腐食性が強い。
【12 環境影響情報】	データなし。	
【13 廃棄上の注意】	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して処理する。	
【14 運送上の注意】	容器が破損しないよう、ていねいに扱う。 水濡れを避ける。	
【15 適用法令】	化学物質管理促進法 労働安全衛生法 毒物及び劇物取締法	該当しない 第 57 条の 2 名称等を通知すべき有害物に該当しない 該当しない
【16 その他の情報】	引用文献 14504 の化学商品(2004 年版、化学工業日報社) 化学大辞典 (化学大辞典編集委員会 共立出版株式会社)	

- * 本データシートは、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるもので、本製品の工業的な一般的取扱いについて最新の情報を集めたものでありますが、完璧なものではありません。
又、本データシートは、保証書ではありません。新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正されることがあります。本製品に他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用するときは、ご需要家各位が安全性の評価を実施し、自らの責任において個々の取扱い等の実態に応じた適切な措置をお取り下さるようお願い致します。